

ユニオンファンド 月次レポート

第 193 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2024年12月5日作成

MONTHLY TOPIC

お金の話はタブー？

日本ではしばしば「人前でお金の話はするな」とか、「お金の話をするのは品がない」などと言われ、お金の話をすることはタブー視されがちでした。今でもこのイメージは払しょくされていませんが、一方で SNS の進化によって、共通の興味、話題を持つ人たちが集まって情報交換することが普通になり、お金や投資の情報もたくさん発信されるようになりました。これにより、街中にも特定の顧客層のみを対象としたお店、施設が作られるようになり、お金に関しても『投資 BAR』や『証券 BAR』などといった一般の投資家が集まる場所ができています。

お客様と、そしてお客様同士で気軽に投資の話ができる場を作ってみました

とはいえ、そのような場所の大半はまだ対象者の多い都市部にあり、実際に行くことができる方は少ないでしょうし、敷居が高く感じるのも事実でしょう。お客様との会話の中で、「家族や友人とお金の話はできない」、「投資をやっている人同士で話ができる機会が欲しい」などといった声を聞くこともよくありました。また、個別相談対応をしていると、「お金の相談ができる人が居て良かった」と言われることも少なからずあります。セミナーをきっかけに、参加者の一部の方からお誘いを受けて、オフ会のようなものに参加したこともあります。

そこで、この度リモートにてお客様と一緒にお金や投資の話をざっくばらんに語り合う場を設けてみようと考えました。その名も『ユニオン語り Bar』です。セミナーとは異なり、10 人程の少人数グループを作って弊社スタッフや他のお客様と自由に話し合うという企画です。お飲み物（アルコールも OK）を飲みながら、聞いてみたいことを尋ねるもよし、他のお客様の話を聞くだけでもよし、一緒にお金や投資の話で盛り上がりましょう！開催は、12 月 13 日（金）と 19 日（木）を予定しております。好評なら継続したいとも考えています。

今年最も多かった質問は・・・

既存のお客様からの個別相談やセミナーにおけるご質問で、今年最も多かったのが、「これまで買ってきたユニオンファンドは NISA で買い直した方が良いですか？」という内容です。これについては、昨年の 10 月～12 月に実施した『新 NISA の基本』セミナーにてご説明しましたが、以降も多くのお客様からご質問、ご相談をいただいておりますので、今回このテーマに絞ったセミナー『保有資産の新 NISA 買い直し する？しない？』を 17 日（火）に開催することにしました。考え方や実施する場合の注意事項など詳しくご説明いたしますので、ご興味がある方は是非ご参加ください。

各企画の詳細内容のご確認、お申込は、弊社 HP セミナーページ <https://www.unionam.co.jp/seminar/> よりお願いいたします。

赤津 正

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2024年11月末現在)

基準価額

38,132 円

純資産総額

138 億 88 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月	-2.28%
1 年	10.44%
3 年	27.35%
5 年	55.89%
10 年	75.49%
設定来	281.32%

複利年率(%)

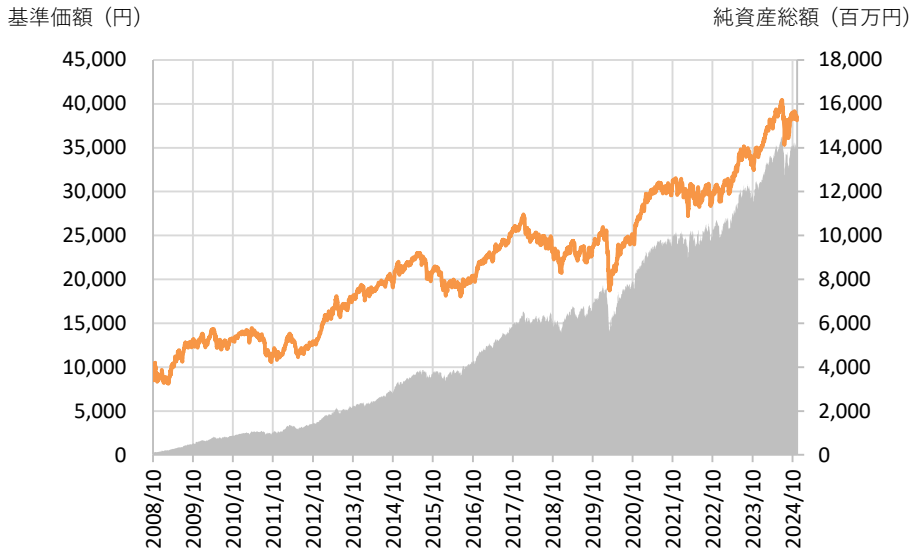
8.66%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

* 設定来、分配の実績はありません。

基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）

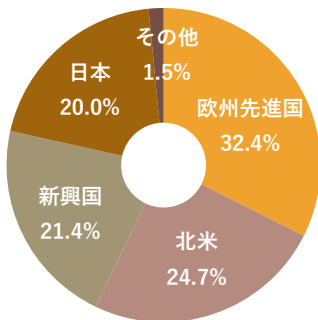


組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.7%	-2.2%
スパークス F	日本	12.4%	0.8%
キャピタル F	欧米	20.2%	-1.0%
ハリス F	欧米	19.5%	-1.8%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	11.6%	-6.8%
コムジェスト・エマージング F	新興国	18.2%	-4.4%
現金等	-	13.5%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2024年10月末現在)

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2024年11月の市場動向と運用状況

投資環境

米国大統領選でのトランプ前大統領当選を機に、彼が掲げてきた減税や規制緩和による景気拡大への期待から、米国株は上昇しました。選挙前にはハリス候補が僅差で勝った場合の混乱を警戒する向きもありましたが、開票が始まってから短時間でトランプ候補の勝利が決まり、不透明感は一気に払拭されました。主要株価指数の一つであるS&P500指数の月間上昇率は現地ベースで今年最大でした。

その後は利益確定の売りが出たことや、FRB（連邦準備制度理事会）のパウエル議長が、経済は極めて良好で利下げを急ぐ必要はないと発言したため利下げ期待が後退したこと、さらには生産者価格指数の上振れもあって長期金利が上昇したことなどから、やや頭打ちとなりました。しかし、財政規律を重視し、かつ市場に精通した人物が次期財務長官に指名されたことで安心感が広がり、長期金利はやや低下し、株価は高値を更新しました。

一方、日本・欧州・新興国など他の地域は、トランプ政権の保護主義的な政策を警戒して軟調な推移にとどまり、米国とそれ以外で明暗がくっきりと分かれました。トランプ氏が予想外に早く関税引き上げの具体策を打ち出したことは為替市場にも影響が及び、多くの国の通貨が売られる結果となりました。

運用の状況

ユニオンファンドは値下がりし、市場の動きをやや大きく下回りました。組入比率が低い米国株が上昇したのに対し、多めに保有している欧州、新興国の株価は下落し、日本もほぼ横ばいにとどまったことが響きました。売買は見送りました。月末の組入比率は86.5%と、前月から若干低下しました。

今後の見通し

トランプ氏の当選で米国株は好調に推移しましたが、債券市場の動きはやや異なりました。減税によって財政赤字が膨らむ可能性や、関税の引き上げによる輸入品価格の上昇を通じてインフレ率が高まることへの警戒感が高まり、長期債は売られ、金利が上がる場面がありました。

しかし株式市場では投資家心理が一層強気に傾き、保有する現金の比率が低下して買い余力が減っていることもうかがえます。業績は拡大が続いていますが、株価の上昇ピッチは速く、利益に対する株価の倍率を示すPER（株価収益率）は上昇傾向にあります。米国の保護主義的な政策は、ここまで市場をけん引してきたグローバルなハイテク企業の収益力を低下させることになるかもしれません。また、米国では9月以降で2回、計0.75ポイントの利下げが行われてきましたが、インフレ率の推移次第ではFRBが利下げに慎重な姿勢を強める可能性もあります。

米国とそれ以外の国・地域との間で株価の動きに大きな差ができてきていることにも、そろそろ目を向けた方が良いと思っています。景気が良好な米国に対し、欧州は厳しい経済状況から抜け出せずにいますが、景気の悪化は利下げの可能性を高めます。利下げが本格化すれば景気へのプラス効果が強まるでしょう。また、可能性はまだ大きくないかもしれませんが、ウクライナ問題が改善に向かい、欧州にとって追い風になることも全くないとは言えません。今後はこのあたりも注目していきたいと考えています。

運用責任者 久保田徹郎

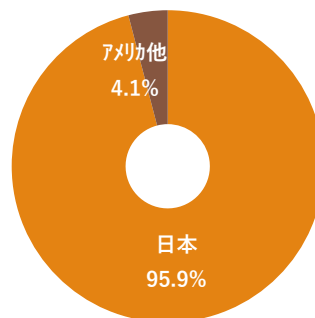
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



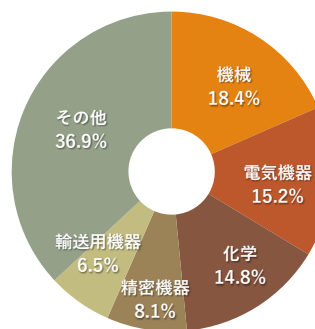
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	4.3%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 ディスコ	3.8%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
3 テルモ	3.8%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
4 セブソ&アイHD	2.9%	日本	小売業	大手総合小売業
5 ダイキン工業	2.6%	日本	機械	エアコン世界大手
6 プリヂストン	2.6%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
7 トヨタ自動車	2.5%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
8 INPEX	2.4%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
9 三菱重工業	2.3%	日本	機械	大手総合重機
10 花王	2.3%	日本	化学	トイ列一位
上位10銘柄	29.4%		現金等	11.3%

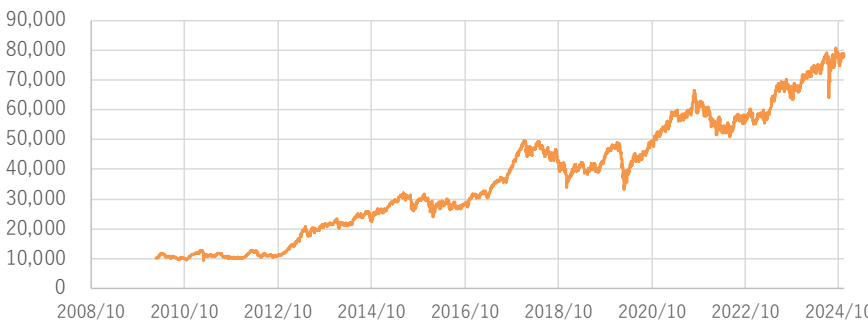
業種別構成比



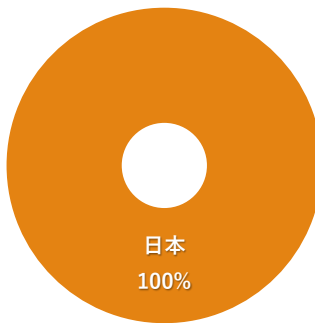
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年11月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



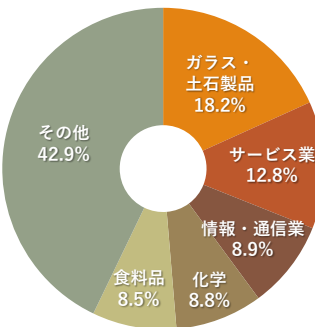
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、ステアラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
サイゼリヤ		日本	小売業	ファミリーレストラン
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
SBIホールディングス		日本	証券・商品先物取引業	金融持ち株会社
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等				4.2%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年10月末現在 >

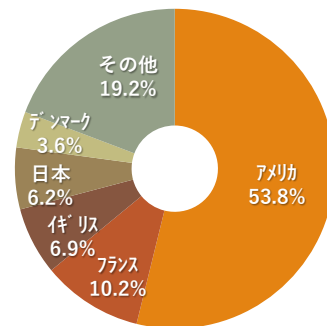
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



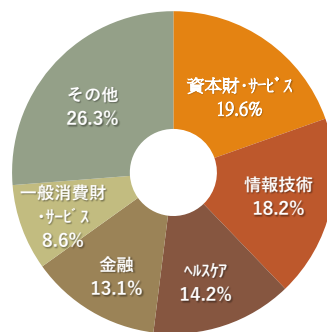
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Broadcom	2.8%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
2 Novo Nordisk	2.4%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
3 Alphabet	2.3%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
4 Apple	2.3%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
5 Microsoft	2.3%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
6 AstraZeneca	1.9%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
7 Safran	1.8%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
8 SAP	1.4%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
9 TotalEnergies	1.4%	フランス	エネルギー	国際巨大石油資本の一角
10 TSMC	1.4%	台湾	情報技術	半導体メーカー
上位10銘柄	20.0%	現金等	3.9%	

業種別構成比



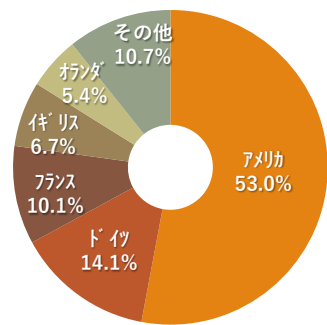
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年10月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



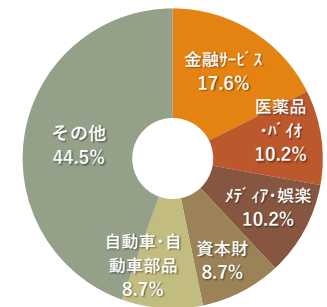
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 CNH INDUSTRIAL	3.9%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
2 BNP PARIBAS	3.8%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 BAYER	3.6%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
4 CAPITAL ONE	3.5%	アメリカ	金融サービス	銀行、クレジット・カード 事業等
5 ALPHABET	3.5%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
6 IQVIA	3.3%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
7 MERCEDES-BENZ	3.2%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
8 KERING	3.1%	フランス	耐久消費財・アパレル	高級ファッション・ブランド 大手
9 INTERCONTINENTAL EXCHANGE	3.0%	アメリカ	金融サービス	金融取引所の大手運営会社
10 CENTENE	2.9%	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	医療保険プログラムの提供
上位10銘柄	33.7%	現金等	3.8%	

業種別構成比(マザーファンド)

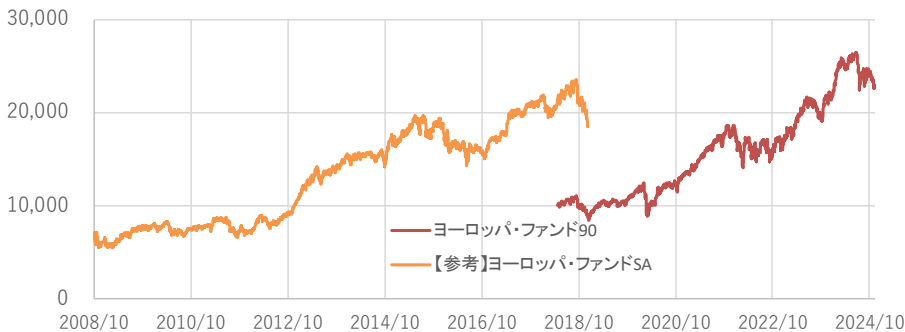


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年10月末現在>

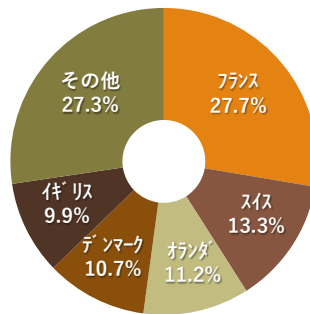
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



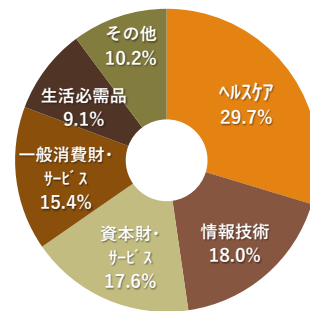
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NOVO NORDISK	7.1%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 ASML	6.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 ESSILORLUXOTTICA	5.2%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 SCHNEIDER ELECTRIC	4.9%	フランス	資本財・サービス	電気設備、エネルギー管理
5 ALCON	4.2%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
6 AIR LIQUIDE	4.0%	フランス	素材	産業ガス世界大手
7 RELX	3.7%	イギリス	資本財・サービス	ビジネス顧客向け情報・分析
8 EXPERIAN	3.7%	イギリス	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
9 DASSAULT SYSTEMES	3.3%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア会社
10 ACCENTURE	3.0%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
上位10銘柄	45.7%	現金等	2.3%	

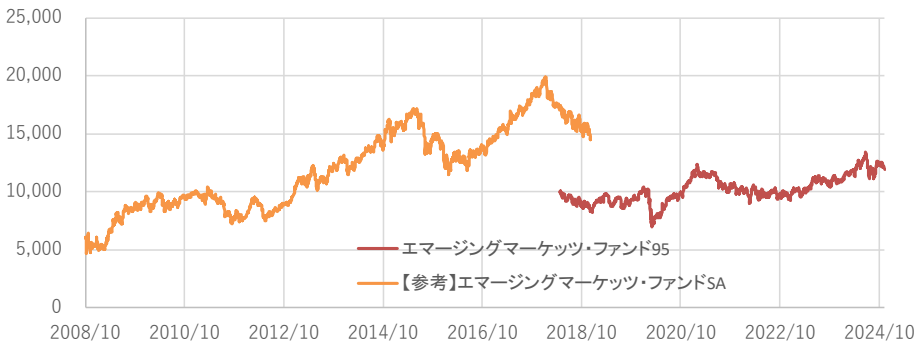
業種別構成比(マザーファンド)



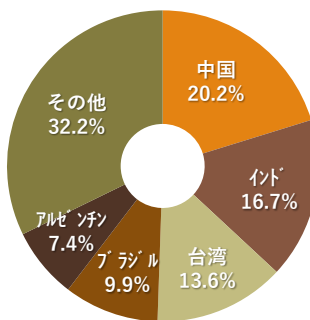
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年11月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



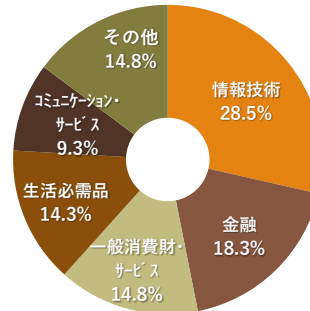
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	9.4%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 TENCENT	6.6%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
3 MERCADOLIBRE	4.4%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
4 DELTA ELECTRONICS	3.9%	台湾	情報技術	電源、変圧器
5 DISCOVERY	3.6%	南アフリカ	金融	南アフリカの保険会社
6 SAMSUNG ELECTRONICS	3.6%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
7 ASML	3.4%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
8 WEG	3.4%	ブラジル	資本財・サービス	電動機、変圧器
9 MIDEA	3.1%	中国	一般消費財・サービス	家電の製造販売
10 Wal Mart de Mexico	3.0%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
上位10銘柄	44.2%	現金等	2.6%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年11月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

年末年始の営業日・営業時間について

年末年始の営業日・営業時間および取引受付時間は、以下のとおりとなります。

	営業日	営業時間	取引受付時間
年末	2024年12月30日まで	9:00 ~ 17:00	15:30 まで
年始	2025年1月6日から		

※ ファンドを換金（解約）されるお客様で、年内に解約代金お受取りをご希望される場合は、**12月23日（月）15時30分まで**にお申し込みください。

※ NISA 口座でお取引をいただいているお客様で、2024年分の年間投資枠での買付をご希望される場合は、**12月25日（水）15時30分まで**にお申し込みください。
（弊社にてお取引いただける NISA 口座の年間投資枠は、「成長投資枠」の240万円です。）

目論見書の改定について

2024年12月21日にユニオンファンドの目論見書を改定いたします。

- ◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。
- ◎ 今回の目論見書改定において重要な事項に変更はありません。
- ◎ 「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部までお申し出ください。）。

個人番号（マイナンバー）制度について

2016年より開始されております「マイナンバー制度」に伴い、同年より前に口座開設されたお客様へ、法令に基づき「個人番号（マイナンバー）ご提供のお願い」により、マイナンバーをご提供いただいております。

該当されるお客様で、まだ弊社までご提供いただけていない方、ご提供の際の書類漏れなどで受付できずに返却させていただきました方におかれましては、2022年1月1日以後最初にご解約される時または分配金再投資があるときまでに、マイナンバーをご提供いただく必要がございます。引き続き「個人番号届出書」と「個人番号確認書類」のご提出を、何卒よろしくお願いいたします。

※マイナンバーご提供に関する書類をご請求される場合は、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお電話いただくか、弊社ホームページの「資料請求・お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。

[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]

*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。

※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。